

「ありがとうコメント」

北風と太陽

青森県 北国の新米

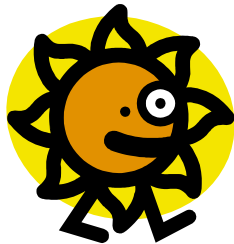
思い起こせば1年前、金融機関のPR攻勢をきっかけに、おそろおそろ資産運用の第一歩を踏み出しました。しかし、淡い期待とは裏腹に、いくつものファンドと出会い、そして別れを繰り返してきました。

失望に明け暮れていた矢先、雑誌のかたすみに『ありがとうファンド』なる名前を初めて目にしました。「変わった名前だな」これが率直な第一印象でした。その後もちよくちよく雑誌に顔をのぞかせはするのですが、いっこうにその詳細がわかりません。

きわめつけは、さわかみ投信代表とありがとう投信代表の共著『ファンド・オブ・ファンズ入門』。長期投資への思いをまとめるのなら、それを具現化した自分たちのファンドについても熱く語ってもよさそうなものなのに、ここでも謎のベールに包まれたままでした。



やむなく？資料を取り寄せてみると、それまでの実績を誇示するようなパンフレットとは一線を画した『ありがとうスタイル ~ ありがとう投信からのご提案 ~』の冊子。単色刷りの地味な紙面ながら、設立までの経緯や愚直なまでのポリシーがぞくぞくするほどに伝わってきました。



もちろん、すぐさま口座開設と定額投資に行動を移しました。以来、顧客本意の実直な運用方針、厳選された組み込みファンド、二人三脚を標榜するファンド仲間、そしてアットホームな対応…。すべてが私のお気に入りです。

結局、積極的にPR展開しているファンドより、知る人ぞ知るひかえめなファンドに心動かされることとなりました。さながら、イソップの『北風と太陽』のようでした。

今となっては、自分もやみくもにありがとうファンドを人に勧めない方針を貫いています。その後の収益を保証できないこともありますが、義理人情や腰掛気分での参入はファンド仲間の迷惑になりかねないからです。それと、ありがとうファンドには北風ではなく太陽であり続けてほしいと考えるからです。

本当に「ありがとうスタイル」の価値がわかる人たちが、みんなで今以上に社会に貢献できる日が来ることを今から楽しみにしています。

「ありがとうコメント」を募集しております。

<「ありがとうコメント」応募要項>

コメントの内容は、皆様が実践されている「長期投資」、「資産運用」或は「資産形成」や「社会情勢などに対する考え」など特定致しません。文章はA4版1ページ程度の長さでお願いします。寄稿いただく場合のお名前は「ペンネーム」でも結構です。

ご注意：原則としてご寄稿されました文章は、すべてご紹介させていただきたいと考えておりますが、弊社の「ありがとうスタイル」にそぐわないと思われるものは弊社の判断で除外させていただく場合がございます。何卒ご了承ください。

当資料は、ありがとう投信株式会社が『ありがとうファンド』に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。当ファンドの受益証券の取得申込みの際には、必ず内容を目論見書でご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。当レポートに記載されている事項につきましては、作成時点または過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。当レポートは、各種の信頼性が高いと判断した情報に基づいて作成しており、正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通しは作成日時点での当社の判断を反映したものであり、将来の市場環境などの変動などを保証するものではなく、将来予告なしに変更されることがあります。